

青年等就農計画認定申請書

平成 年 月 日

弘前市長 殿

申請者 住所 弘前市大字上白銀町1-1

ふりがな ひろさき しろう

氏名 弘前 市郎 印

電話番号 0172-40-7102

昭和・平成 60年 5月 14日生 (33歳)

<法人設立年月日 年 月 日設立>

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第14条の4第1項の規定に基づき、次の青年等就農計画の認定を申請します。

青年等就農計画					
就農地	弘前市		農業経営開始日	平成 <u>29</u> 年 <u>4</u> 月 <u>1</u> 日	
就農形態 (該当する形態に レ印)	<input type="checkbox"/> 新たに農業経営を開始 <input type="checkbox"/> 親（三親等以内の親族を含む。以下同じ。）の農業経営とは別に 新たな部門を開始 <input checked="" type="checkbox"/> 親の農業経営を継承 [<input type="checkbox"/> 全体 <input checked="" type="checkbox"/> 一部] 継承する経営での従事期間 年 <u>0</u> か月				
目標とする営農類型	露地果樹				
将来の農業 経営の構想	面積拡大や販路の開拓により、経営発展を図る。				
	新たな作目として桃を導入し、経営の多角化と所得の向上を目指す。				
	(年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標)				
		現状	目標 (年)		
	年間農業所得	<u>400</u> 千円	<u>2,300</u> 千円		
	年間労働時間	<u>1,200</u> 時間	<u>2,000</u> 時間		
農業経営 の規模に 関する 目標	作目・部門名	現状		目標 (年)	
		作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
	りんご	<u>50 a</u>	<u>11,000 k</u>	<u>90 a</u>	<u>25,000</u>
	桃	<u>0 a</u>	<u>-</u>	<u>10 a</u>	<u>2,400 kg</u>
	経営面積合計	<u>50 a</u>		<u>100 a</u>	

農業経営の規模に関する目標	区分	地目	所在地 (市町村名)	現状		目標 (年)	
	所有地	畑(樹園地)	弘前市	40 a		40 a	
		田(樹園地)	弘前市	10 a		10 a	
	借入地	畑(樹園地)	弘前市	0 a		50 a	
	特定 作業受託	作目	作業	現状		目標 (年)	
				作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
	作業受託	作目	作業	現状		目標 (年)	
		単純計					
換算後							
農畜産物の 加工・販売 その他の関連・附帯事業	事業名	内容	現状		目標 (年)		
	契約販売	りんご生果	0 kg		2,000 kg		
生産方式に関する目標	機械・施設名	性能、規模等及びその台数					
		現状			目標 (年)		
	乗用草刈機	1台 (貸借)			1台		
	スピードスプレーヤ	1,000L 1台 (共防)			1,000L 1台		
	トラック	軽 1台			軽、2t 各1台		
経営管理に関する目標	複式簿記記帳を学び、青色申告を行う。						
農業従事の態様等に関する目標	休日制を導入し、労働力の負担を軽減する。 作業適期の効率的な作業を行うため、雇用労働力を確保する。						

目標を達成するために必要な措置	事業内容 (施設の設置・ 機械の購入等)	規模・構造等	実施時期	事業費	資金名等		
	乗用草刈機	1台	31年 4月	750千円	青年等就農資金		
	スピードスプレーヤ	1,000L 1台	31年 4月	6,500千円	青年等就農資金		
			年 月	千円			
			年 月	千円			
			年 月	千円			
農業経営の構成	氏名 (法人経営にあつては 役員の名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあつては 役職)	現状		見通し	
				担当業務	年間農業 従事日数 (日)	担当業務	年間農業 従事日数 (日)
	弘前 市郎	33	(代表者) 本人	作業全般	150日	作業全般	250日
	凜子	29	妻	作業全般	50日	作業全般	80日
	城太郎	60	父	作業全般	50日	収穫作業	30日
雇用者	常時雇 (年間)	実人数	現状	0人	見通し	0人	
	臨時雇 (年間)	実人数	現状	0人	見通し	2人	
		延べ人数	現状	0人	見通し	60人	

○ 農業経営基盤強化促進法第4条第2項第2号に掲げる者及び法人の役員（同号に掲げる者に限る。）が有する知識及び技能に関する事項

	経歴
職務内容	
勤務機関名	
在職期間	年 月 ～ 年 月
上記の住所	
退職年月日	
資格等	
農業経営に活用できる知識及び技能の内容	

注：法人の場合は、役員（農業経営基盤強化促進法第4条第2項第2号に掲げる者に限る。）ごとに作成すること。

（参考） 技術・知識の習得状況	研修先等の名称	所在地	専攻・営農部門
	株式会社 鷹丸農園	弘前市大字下白銀町1	
	研修等期間	26年 4月 ～ 28年 3月	
	研修内容等	りんごの栽培に関する知識・技術の習得。 その他の農作物に関する基礎知識の習得。 直接販売やネット販売を通じた、接客・販売戦略の学習。	
活用した補助金等	青年就農給付金（準備型）		

注：研修カリキュラム等を添付すること。

法人の場合は、役員（農業経営基盤強化促進法第4条第2項第1号及び第2号に掲げる者に限る。）ごとに作成すること。

（参考） 他市町村の認定状況	認定市町村名	認定年月日	備考